

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称 鹿川ターミナル株式会社
- (2) 事業所の所在地 広島県江田島市能美町鹿川31-5
- (3) 業種 倉庫業 4711

2 計画の期間

平成 20(2008)年度を基準年度とし、平成 27 年 (2015) 年度から平成31(2020)年度までの 5年間としている。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度	平成 年度	平成 年 度	平成 年度	平成 年度	平成 年 度	平成 年度
エネルギー 起源 CO ₂							
非エネルギー 起源 CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計							
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：タンク放熱面積 (a ㎡)

温室効果ガスの種類	基準年度 の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 20 年度	平成 31年度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 年度	平成 年 度	平成 年度
エネルギー 起源 CO ₂	18.89	15.13 19.9%	8.71 53.9%	10.69 43.4%			
非エネルギー 起源 CO ₂							
メタン							

一酸化二窒素	0.0013	0.0010	0.0005 8	0.00072			
		23.1%	55.4%	44.6%			
フロン類							
温室効果ガス 総排出量	18.89	15.13	8.71	10.69			
		19.9%	53.9%	43.4%			
エネルギー消費 原単位（原油換 算k1）	6.81	5.46	3.14	3.85			
		19.8%	54.0%	43.5%			
実績に対する 自己評価		<p>平成 28 年度は平成 27 年度と比べ原油の受払数量が半減したため、 貯蔵油量を少なくして出来るだけ加温しなくて良いように運用方法を変更した。 また、 貯蔵油の管理温度を、客先と相談して 1～2℃ 下げることが出来たことで大幅に蒸気使用量が減少した。</p>					

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	平成 27 年度ボイ燃料使用量 C 重油 2984KL 平成 28 年度ボイ燃料使用量 C 重油 2381KL (燃料使用量を 20 %削減)	ボイの運用方法の変更 ボイ管理温度の引き下げ ※詳細は 3 ページ参照
2			
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	その他	特に定めず	構内山林への植樹
2	その他	年間 20 千 kW 年間 13tCO ₂ 削減	太陽光発電システム H28 年度実績 22.050 千 kW

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。